

2021年度（令和3年度）事業報告書

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

NHK厚生文化事業団 2021年度（令和3年度）事業報告

コロナウイルスの感染拡大が断続的に続き、チャリティー事業による収入が減少する中、事業団は、感染防止に配慮しつつ、1つ1つの業務に取り組み、福祉の増進、共生社会の進展に向け尽力しました。

時代とともに変化し多様化する福祉へのニーズに応えるため、「発達障害」や「ヤングケアラー」などをテーマにしたフォーラムを開きました。また、「障害者アート」を地域福祉の視点から考えるフォーラムを実施しました。認知症については、フォーラムのほかに、2017年度から始めた募集事業「認知症とともに生きるまち大賞」を継続するとともに、これまでの受賞団体の取り組みをホームページに掲載し、間近に迫る認知症700万人時代への共生の取り組みを支援しました。

パラスポーツ（障害者スポーツ）を通して障害者への理解を促進する事業に力を入れました。東京2020パラリンピックでメダルを獲得した選手らを小学校に派遣して子どもたちと交流するイベントを継続したほか、パラスポーツ・イベントに事業団賞を贈呈しました。

コロナ禍で授業やイベントがオンラインになる中、NHK福祉番組や事業団制作のDVD教材などの福祉情報を届ける「福祉ビデオライブラリー」においては、学校やイベント主催者からの様々な需要に応えました。

災害被災地を支援する取り組みとして、「わかば基金」の「災害復興支援部門」で、東日本大震災や西日本豪雨の被災地の福祉活動を資金面から支援しました。

NHKグループの一員であり、社会福祉法に則り、寄付で運営される社会福祉法人として情報セキュリティ強化など、引き続き内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等に努め、高い説明責任、透明性ある組織運営を進めました。

○最新の福祉課題に正面から取り組み、理解促進と支援を促す

「発達障害」や「がん」などのフォーラム、「インクルーシブ防災」のワークショップをオンラインで実施し、理解促進と支援に努めました。

○事業団ならではの募集事業や公開イベントを放送と連携して行い、多様なスタイルで福祉情報を発信していく

「障害福祉賞」、「認知症とともに生きるまち大賞」、「ヤングケアラー」や「障害者アート」のフォーラムを番組と連動して実施し、障害者・高齢者福祉に資する情報を発信しました。

○パラスポーツ・イベントを継続して実施

「交流教室 パラリンピアンがやってきた!」、渋谷区主催の車いすラグビー、パラ卓球、ボッチャ大会に、事業団賞や参加者への記念品を贈呈し、障害者への理解とパラスポーツ支援に努めました。

○きめ細かい福祉情報の提供

「福祉ビデオライブラリー」は、「摂食障害 理解と回復のために」「優しい認知症ケア ユマニチュード」「うつ病」「新しい絆の作り方 特別養子縁組・里親入門」など、事業団制作教材の貸出数が上位を占めました。またホームページやメールマガジン、フェイスブックでイベントの告知やイベントの実施内容をわかりやすく発信して、事業のPRと共に、参加できなかった人たちに情報を届けることにも努めました。

○全国の福祉現場や災害被災地を支援

「わかば基金」による全国の福祉施設や災害被災地への援助、「製品販売会」による東日本大震災被災地の福祉施設への支援などを行いました。

○内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等

外部の専門団体との間で顧問契約を結び、適正経理、法務、労務・安全管理、情報セキュリティ等の重点リスクについて逐次助言を得て、業務を進めました。

毎月の「働き方総点検」で、時間外や勤労休暇取得日数、業務量のバランスなどを把握し、適正な勤務管理に努めました。

NHK内部監査室実地調査を受検し、共有フォルダーの適正化など情報セキュリティ強化を進めるなどカバナンス・業務執行状況等について適切との評価を得ました。

目 次

1. 障害者福祉事業	2
2. 高齢者福祉事業	7
3. 東日本大震災などの被災地を支援する事業	9
4. 福祉情報の提供事業	10
5. チャリティー事業	12
6. その他の支援事業	13
7. 広報活動	17
8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等	18
9. 後援・協賛した事業	19
10. 寄付金	20
11. 賛助会員・維持会員等	21
12. 役員	23
13. 2021年度末従業員数	23
〈資料〉・事業概要一覧	

1. 障害者福祉事業

(1) こどもの発達相談会

○こどもの発達相談会

大阪、福岡において、ことばや発達の遅れた子どもとその親の相談会を15回実施した。コロナ対策を施した対面と電話との併用で開催した。知的や言語の発達の遅れ、自閉スペクトラム症（ASD）や学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）などの子どもの相談が多かった。

大阪	5回	相談件数	67件
福岡	10回	相談件数	30件

(2) 肢体不自由児・者の療育活動

予定していた「高木記念山中キャンプ」（山梨県山中湖村）、「雪と遊ぼう 親と子の療育キャンプ」（新潟県南魚沼市）、「フレンドシップ・キャンプ」は、すべてコロナの影響で中止となった。

(3) NHKハートフォーラム（発達障害）

自閉スペクトラム症（ASD）、学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）などの発達障害について、地方の「親の会」や「支援団体」、NHK地域放送局などと共催し、NHKハートフォーラムとして5回開催した。

			参加者
8月9日	東京・渋谷区	「子どもの発達障害」 ～『子どもファースト』をどう実現する？～	オンライン 632人
9月23日	大阪・大阪市	「発達障害児支援の50年、そしてこれから」	会場参加 306人
10月23日	佐賀・佐賀市	「自閉スペクトラム症」 ～ライフステージに応じた理解と支援～	会場参加 101人
12月12日	滋賀・近江八幡市	「自閉スペクトラム症の人たちとの共生社会について考える」	会場参加 142人
(2022年)			
2月12日	愛知・名古屋市	「実は身近な発達障害 共生について考える」	オンライン 400人
			合計：1,581人

(4) NHKハートフォーラム (ヤングケアラー)

家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども「ヤングケアラー」を、より多くの人にその存在を知ってもらい、当事者の「SOS」を見逃さず、支援につなげていくためにはどうすればいいか、当事者や教育関係者などで考えた。

11月26日 埼玉・さいたま市

「ヤングケアラー～SOSを見逃さないために～」

会場参加

参加者

181人

オンライン

396人

計

577人

*NHKの放送 2021年12月22日 ハートネットTV

(5) NHKハートフォーラム (障害者アート)

「テンションがあがる」「地域の活力があがる」「企業価値があがる」アートを、“あがるアート”と名付け、こうした“あがるアート”で人や地域をもっと元気にするアイデアを、アーティストを輩出する福祉事業所の代表や医療施設のアートディレクターらと話し合うフォーラムを昨年度に引き続き、NHKハートネットTVと連動して実施した。

11月6日 東京・渋谷区 「あがるアートの会議2021」

オンライン

参加者

164人

*NHKの放送 2021年12月7日、8日 ハートネットTV

(6) フォーラム「がんと生きる～こころとからだ 私らしく～」

高齢化の進展によって2人に1人ががんを抱える時代。がん医療が進歩する中、完治を目指す治療の一方で、痛みをできるだけ減らしていく緩和ケアが始まっている。医療従事者や当事者との対話を通して、最新の医療情報と本人に寄り添う支援のありようについて考えた。

6月27日 名古屋

オンライン

参加者

818人

11月7日 札幌

オンライン

457人

(2022年)

1月30日 京都

オンライン

770人

合計：2,045人

*NHKの放送 2021年9月12日 東海三県域で放送 (6月27日分)

12月19日 北海道域で放送 (11月7日分)

(7) ワークショップ わが町のインクルーシブ防災

高齢者・障害者・子どもたちなどの「災害弱者」の命も取り残さない「インクルーシブ防災」を広めるため、2017年度から続けているワークショップ。2021年度は、神奈川県逗子市の活動家、障害当事者を中心に、事業団制作の福祉DVD「ひとりも取り残さないために～インクルーシブ防災」を教材に2回に分けて実施した。

6月27日 ①「避難行動編」

オンライン

参加者

35人

7月18日 ②「避難生活編」

オンライン

28人

合計：63人

(8) 障害者スポーツイベント

○交流教室 パラリンピアンがやってきた！

パラリンピック選手が小学校を訪問し、子どもたちとパラスポーツを楽しみ交流するイベントを5回実施。東京2020パラリンピックのメダリスト参加回も実現した。コロナ禍で学校行事が減る中、どこの学校でも大変喜ばれた。

				参加者
7月 6日	東京・三鷹市立北野小学校	「車いすバスケットボール」	84人	
10月18日	東京・日野市立夢が丘小学校	「陸上」	325人	
11月 9日	東京・豊島区立池袋小学校	「陸上」	238人	
12月 3日	千葉・県立桜が丘特別支援学校	「車いすバスケットボール」	157人	
(2022年)				
3月 8日	東京・足立区立千住桜小学校	「ブラインドサッカー」	78人	
				合 計：882人

○第54回スポーツの集い

知的障害のある人のスポーツ競技会。重度の障害者が参加できる全国でも数少ないスポーツ大会で今回はコロナ対策として、会場での参加のほかにリモート参加も可能にして実施。体操と玉入れは来場者とりモート参加者両方が参加し、来場者には徒競走にも参加してもらった。

				参加者
12月9日	東京・調布市 武蔵野の森 総合スポーツプラザ			
		会場参加	(7施設)	108人
		オンライン	(22施設)	469人
				合 計：577人

○パラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を贈呈

渋谷区主催のパラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を提供した。予定していた4回のうち、「渋谷区長杯パラバドミントン大会」は、コロナの影響で参加者が集まらず中止となったが、下記3大会には敢闘賞の盾を、「ボッチャ渋谷カップ」には加えて参加者全員に参加賞を贈呈した。

11月 28日	第4回 渋谷区長杯車いすラグビー大会	(渋谷区スポーツセンター)
(2022年)		
1月 23日	第1回 渋谷区長杯パラ卓球大会	(渋谷区スポーツセンター)
3月 6日	第2回ボッチャ渋谷カップ	(渋谷区スポーツセンター)

(9) 障害者や福祉への理解を促す事業

○福祉施設の手づくり製品や菓子の販売会

事業団とNHK共済会が2011年度より共同で実施している「福祉施設で作られたお菓子などの販売会」を、東京のNHK放送センターで5回開催した。3月は、東日本大震災被災地支援として福島・宮城・岩手各県の事業所が作った製品の販売を行った。

○福祉の仕事に就く若い人たちに向けたフォーラム

名古屋市で、愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋拠点放送局、中日新聞社との共催で、福祉を担う若手や中堅職員が本音で語り合える場を設け、福祉現場の現状と魅力を伝えるフォーラムを開催した。

12月12日 名古屋市 「福祉の星フォーラム」

会場参加

参加者

21人

オンライン

76人

合計：97人

(10) 第56回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える「障害福祉賞」。過去最多の567編の応募があり、選考の結果、次の実践記録が入選した。

第1部門： 障害のある本人の部門

第2部門： 障害のある人とともに歩んでいる人の部門

応募数： 567編（第1部門：412編、第2部門：155編）

(入選作)

最優秀

「保育士の卵、ワケありにつき

～ちょっとそのカラ破ってみない?～」竹内 智香（北海道）

優秀（第1部門）

「いのちについて」

戸谷 百花（埼玉県）

「いつかきっと大丈夫になるので」

寺本 舞衣（京都府）

（第2部門）

「重度知的障害の我が子、

友ちゃんと出会ってからの私」

幾谷 栄司（兵庫県）

矢野賞

「見える障害と見えない障害」

津田 由美（神奈川県）

佳作

6編

入選作品は「第56回障害福祉賞入選作品集」を作成して広く頒布したほか、朗読による音声版（テープ、デジタル録音）、点字版の入選集を作成し、全国の点字図書館や視覚障害の応募者などに提供した。贈呈式は12月8日にNHK放送センターで受賞者を招いて実施。一部の受賞者はオンラインで参加した。また入選作品や受賞者の思いは、2022年1月6日、2月13日の「ラジオ深夜便」（ラジオ第1）、2月14日、15日の「ハートネットTV」（Eテレ）で紹介された。

(11) NHKハート展

○第26回ハート展

26回目の「NHKハート展」には、障害のある人が綴った詩3,502編が寄せられ、その中から選考の結果50編の詩を入選とした。

それぞれの思いがこもった50編の作品は、2021年3月2日から13日まで東急Bunkamuraギャラリーで展示され、1,289人が入場した。

2022年度には、佐賀市、秋田市、大阪市、八戸市など全国8か所で巡回展を実施する予定。

3月1日、2日のEテレの「ハートネットTV」で、作品の紹介や作詩者へのインタビューが紹介された。

○NHKハート展 10HEARTS

1994年から毎年開催してきた「NHKハート展」の過去25回の入選作品の中から、NHK番組出演者10人が選んだ『今読んでほしい詩』10編を展示した特別展「NHKハート展 10HEARTS」を開催し、東京・渋谷、札幌市、福岡市、岡山市など全国7か所を巡回した。

全国巡回展 会場・入場者数 (7会場)

	会 期	会 場	入場者数
東京・渋谷区	2021年 8月24日(火)～9月6日(月)	渋谷区立宮下公園	4,170人
東京・渋谷区	11月20日(土)～11月23日(火)	渋谷ヒカリエ ヒカリエホール	6,427人
沖縄県那覇市	12月8日(水)～12月20日(月)	沖縄県立図書館 交流ルーム	252人
大阪市	2022年 1月20日(木)～1月30日(日)	NHK大阪拠点放送局 1階アトリウム	1,916人
徳島市	2月2日(水)～2月15日(火)	徳島駅クレメントプラザ クレメント広場	838人
福岡市	2月26日(土)～3月6日(日)	福岡市役所 西側ふれあい広場	285人
青森県八戸市	3月22日(火)～3月31日(木)	八戸ポータルミュージアム はっち	270人

合計 14,158人 (1会場平均 2,023人)

2. 高齢者福祉事業

(1) 認知症のフォーラム

NHKや各種団体と協力して認知症のフォーラムを4回実施。認知症の当事者やその家族、医療、介護従事者など1、361人が参加した。

○NHKハートフォーラム（認知症）

コロナ禍で外出も面会もできず、認知症の人の症状が悪化することが多くなる中で活動を続けた「認知症とともに生きるまち大賞」の受賞団体と中継を結びながらウィズ・コロナ時代の共生社会へ向けてのヒントを探った。

12月19日 東京・渋谷「ウィズ・コロナの時代に考える
認知症とともに生きるまち」 参加者
オンライン 119人

* NHKの放送

12月27日 Eテレ 全国「ハートネットTV」

○フォーラム「長寿の未来」

「認知症」「フレイル」「介護負担」「孤立」・・・来るべき人生100年時代の社会的課題を医療関係者、識者、当事者とのクロストークを通して考え、その解決策を探った。

9月12日 群馬・南牧村 参加者
オンライン 243人

(2022年)

3月6日 広島・広島市 参加者
オンライン 440人

合計：683人

* NHKの放送

11月13日 Eテレ 全国「TVシンポジウム」 ※9月12日分

○フォーラム認知症新時代「いきいきと暮らすために」

医療・介護の最新情報と、認知症の人と家族を支援する地域の先進的な取り組みを紹介して当事者、家族、医師、地域の人々が語り合い、地域支援の輪が広がるように努めた。

12月5日 神奈川・平塚市 参加者
オンライン 559人

* NHKの放送

2022年 2月22日 Eテレ 全国「TVシンポジウム」

○認知症に関するパンフレットの配布

冊子「もの忘れが気になるあなたへ」（19年度作成・23万部刷成）と、冊子「家族が認知症と診断されたあなたへ～おすすめ介護術」（20年度作成・16万部刷成）、あわせて914部をフォーラムの参加者や希望者に配布した。

(2) 第5回 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症700万人時代」を目前に控え、認知症の人たちと共に安心して暮らしていくための多様な取り組みの喚起をねらいに、全国から活動事例をを募集し、それを専門家、有識者によって選考し表彰した。

応募は30件。その中から本賞・特別賞併せて7件を表彰した。

表彰式は、授賞団体の活動紹介と記念フォーラムと合わせてNHKのスタジオからオンラインで配信し、記念フォーラムはNHK番組として後日、全国放送された。

<受賞団体>

- 本賞
- ヒロさんの畑
認知症があっても我らアクティブシニア (茨城・ひたちなか市)
 - 彩星の会 (東京・新宿区)
 - チーム上京! (京都・京都市)
 - 大分県認知症ピアサポーター事業 (大分・豊後大野市)

特別賞

- 心のバリアフリーを通じて、
里をつむぐ・いのちをつむぐ「半農半介護」 (岩手・八幡平市)
- 石蔵オレンジ文庫 はっちゃけ道場宿 (栃木・宇都宮市)
- ドラえものどこでもドア～未来へ出発 (京都発) 駅カフェ (京都・京都市)

参加者

12月19日 東京・渋谷区 フォーラム オンライン 198人

*NHKハートフォーラム(認知症)の項 参照

フォーラム開催後、引き続きオンライン形式で表彰式を行った。

(3) 2021 新・介護百人一首

2006年から続けてきた、介護短歌の応募作から百首を選ぶ「NHK介護百人一首」をリニューアルして、「新・介護百人一首」と改称して実施した。

11歳から102歳までの幅広い年齢層から10,038首が寄せられた。

3. 東日本大震災などの被災地を支援する事業

「わかば基金」による支援

「わかば基金」災害復興支援部門で、被災地の3団体に支援を行った。

*詳しくは「わかば基金」災害復興支援部門の項 参照。

また、東日本大震災で被災した福島・宮城・岩手各県の福祉作業所が作った菓子や名産品の販売会を3月8日に東京の放送センターで行った。

4. 福祉情報の提供事業

(1) 福祉ライブラリー活動

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組をDVDに複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つである。ラインナップも多様で教育や福祉の現場で活用されている。コロナ禍で授業やイベントがオンラインになる中、学校やイベント主催者から様々な需要が寄せられ、これに応えた。

○福祉ビデオライブラリー

2021年度に新しくライブラリー化した番組は39。「ハートネットTV」などテレビの福祉番組や、「ETV特集」「きょうの健康」など視聴者から反響の大きかった番組、福祉の学習に役立つ番組をDVDに複製した。また、事業団が制作した福祉DVD教材もライブラリーに加えた。

年間の貸出利用は2,959本。おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害児の親や障害者本人、介護に携わっている家族、ボランティア団体などである。

利用が特に多かったソフトは、事業団制作の福祉DVD「優しい認知症ケア ユマニチュード」(233本)。つづいて「摂食障害 理解と回復のために」(67本)。「うつ病」(66本)、「新しい絆の作り方 特別養子縁組・里親入門」(60本)、「発達障害の子ども～”自立”をめざして～」(57本)で、いずれも事業団制作のDVDだった。

2021年度 複製番組数	ライブラリー保有番組数	年間利用数
39番組	631番組	2,959本(枚)

◎これまでの利用数累計：20万8,145本

○聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせ、聴覚障害者向けサービスとして2003年度から行っている。2021年度は、要望の多かった番組「文字の獲得は光の獲得でした」や、ハートネットTV「#隣のアライさん」など5本を字幕化した。

このライブラリーには通算116番組が収められ、全国54の聴覚障害者関係施設と当事業団で貸し出しを行っている。

○視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品や古典の名作を朗読したNHKの番組をデジタル録音のDAISYに複製して、全国46か所の委託施設で貸し出しを行っている。

2021年度はNHKの『ラジオ文芸館』から「暮れ花火」(朝井まかて)「無用の人 Birthday Surprise」(原田マハ)、『新日曜名作座』から「半七捕物帳」、『FMシアター』から、令和2年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞した「ほぞ」などを複製した。

貸し出し利用は年間、2,900本あまりで、「新日曜名作座」、「朗読特集」の利用が多かった。

2021年度 複製作品数	年間利用本数
4番組 8作品	3,775本(枚)

◎これまでの利用数累計：199万8,231本

(2) 福祉DVD教材「あなたに知ってほしいがんのこと」の制作

高齢化に伴い2人に1人がかかる身近な病気になったがん。病気への正しい知識、患者・家族の病気への向き合い方、患者への支援策などについて、専門医、がん経験者、支援団体が解説する。

福祉DVD教材（テキストつき）は福祉ビデオライブラリーからの貸し出し用に2枚組で制作し、全国の病院、患者会、家族会、保健所、高校・大学・医療看護福祉専門学校には、同内容の映像データをオンラインで送付する。

第1巻 「がんにかかる前から知ってほしいこと」

第2巻 「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」

監修：若尾文彦（国立がん研究センター がん対策研究所 事業統括）

なお、本事業はJKAの補助金を得て実施した。

(3) 「認知症」などの冊子配布とホームページでの公開

○「もの忘れが気になるあなたへ」

（監修：小阪憲司 横浜市立大学名誉教授）

認知症はどんな病気か、治療法や予防法、相談窓口などを分かりやすくまとめたもので、発行数は23万部となった。2021年度は534部を参加者や希望者に無料で配布した。

○「家族が認知症と診断されたあなたへ～おすすめ介護術～」

（監修：須貝佑一 認知症介護研究・研修東京センター 研究部長）

認知症の介護のポイントを症状別に解説したもので、発行数は16万部。2021年度は、380部を無料で配布した。

○「思春期のこころの病～“悩み”と“病”の見分け方～」

（監修：青木省三 川崎医科大学精神科学教室教授）

思春期特有の精神疾患の見分け方と対応について啓発する冊子をホームページで見られるようにし、個人のほか、学校や勉強会をするNPOなどにも利用してもらっている。

○「がん患者のための体と心の緩和ケア

～痛みと悩みをやわらげて自分らしい療養生活を送るために～

（監修：的場元弘 青森県立中央病院 緩和医療科 部長）

がん患者の体の痛みや心の苦しみを和らげる「緩和ケア」について、病院や相談機関の情報を含めて解説した冊子を作成。ホームページで公開した。

5. チャリティー事業

2021年度は、以下のチャリティーを行った。

(1) NHK番組公開チャリティー

催物名	期 日	会 場	売上高 等 (単位：千円)
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート ＜東京公演＞ (10回)	5月22日～25日	府中の森芸術劇場	(寄付額) 4, 0 2 0 ＜2022年度入金予定＞
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート ＜地方公演＞ (23回)	7月10日 ～ 2022年2月26日	愛知県豊田市ほか 全国5か所	(寄付額) 6 3 8 ＜2022年度入金予定＞
いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど (8回)	6月13日 ～ 2022年2月20日	大分県大分市ほか 全国4か所	(寄付額) 6 3 8 ＜2022年度入金予定＞

(2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期日	会場	売上高 等 (単位：千円)
令和3年度 日本陶芸倶楽部 会員チャリティー 作品発表展	5月25日 ～5月30日	新宿 柿傳ギャラリー	(寄付額) 1, 2 2 3

6. その他の支援事業

(1) 第33回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動を続けているグループを支援するために設けられたもので、33回目の今回は、「支援金部門」には205グループ、全国の激甚災害の被災地から申請を募った「災害復興支援部門」には12のグループ、「リサイクルパソコン部門」には80グループから申請があった。

「リサイクルパソコン部門」は、NHKやNHK関連団体から不用になったパソコンを寄贈してもらい、新しいアプリケーションソフトを入れた上で必要としている福祉団体に贈呈するもので、NHKグループの社会貢献活動となっている。

選考委員会を経て、全国19グループに総額1,245万円の支援金、16グループに35台のパソコンを贈った。また、支援総額は、パソコン費用を含め1,348万円。

なお、初回からの贈呈件数は870に上る。

<支援金部門 支援先>*16グループ *支援金総額：1,139万円

北海道札幌市	NPO法人ワーカーズ・ぼっけ	石油ストーブ、便座など	50万円
岩手県大船渡市	NPO法人さんりく・こすもす	物置	61万円
秋田県大仙市	NPO法人ワーカーズコープ大仙地域福祉事業所いぶりん	草刈り機など	76万円
埼玉県上尾市	NPO法人みのり	ヨドハウス、エアコン	100万円
千葉県我孫子市	NPO法人自立支援ネット我孫子 地域活動支援センター イエローハート	電子レジスターなど	85万円
千葉県山武市	NPO法人リンク	備蓄倉庫	100万円
東京都青梅市	NPO法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩	オムツ代、扉改修費など	56万円
長野県飯山市	NPO法人ぱーむぼいす	豆刈機、食品乾燥機	100万円
三重県松坂市	NPO法人TEAM創心	コミュニケーション機器など	88万円
滋賀県甲賀市	Smile door 子ども食堂	冷蔵庫、電気ナベ	22万円
京都府京都市	NPO法人京都難病支援パッションネ	施設改修費	100万円
大阪府箕面市	北芝まちづくり協議会	洗濯機、乾燥機	80万円
大阪府大阪市	萩之茶屋プレーパーク	ペンキ、ニスなど	6万円
兵庫県神戸市	NPO法人友之会	たたみ、ふすま など	57万円

熊本県熊本市	NPO法人ガット	本棚、いす、テーブル など	58万円
沖縄県伊江村	NPO法人いちゃゆん会	軽トラック	100万円

<災害復興支援部門 支援先>*3グループ *支援金総額：106万円

宮城県仙台市	東北大学インクストーンズ	消耗品	6万円
宮城県山元町	NPO法人ポラリス	屋根修理	50万円
岡山県倉敷市	あらいぐま岡山	写真洗浄にかかる費用	50万円

<リサイクルパソコン部門 支援先>*16グループ *リサイクルパソコン贈呈：35台

北海道札幌市	勇者の会		3台
宮城県女川町	NPO法人きらら女川		2台
茨城県阿見町	ami seed		3台
茨城県牛久市	フリースクール こどものSONORA		1台
東京都世田谷区	世田谷区中途失聴・難聴者の会「はこべ」		1台
東京都府中市	府中緊急派遣村		3台
神奈川県横浜市	音楽スペースおとむすび		1台
新潟県新潟市	NPO法人 女のスペース・にいがた		3台
愛知県大口町	あいうえOguchi		2台
岐阜県多治見市	多治見アイ・パートナーの会		3台
京都府城陽市	城陽手話サークルめだか		3台
大阪府池田市	傾聴ボランティア「心の倉庫」		2台
大阪府大阪市	輪母ネットワーク		2台
広島県福山市	大きな木の下で		3台
広島県広島市	音訳ボランティアあか音の会		1台
佐賀県佐賀市	みないろ会		2台

(2) NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

2021年度「NHK歳末たすけあい」「NHK海外たすけあい」を、NHK、中央共同募金会、日本赤十字社と共催で12月1日～25日の間実施した。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて、国内の福祉施設やコロナ禍で不安を抱える方など、支援を必要とする方々のために役立てられる。

「NHK海外たすけあい」は、日本赤十字社を通じて、コロナ禍の世界各地で、紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々のために役だてられる。

受付件数・金額（全国集計）

	NHK歳末たすけあい		NHK海外たすけあい	
2021年度	3万9,535件	5億9,667万4,372円	8万3,379件	7億2,088万2,194円

(3) 災害たすけあい

NHK、共同募金会、日本赤十字社とともに、大規模な災害が起こった際に、その都度「災害たすけあい」を実施している。2021年度は、2018年度からの継続も含めて9件実施した。

	期 間	金 額
令和3年島根県松江市 大規模火災義援金	2021年4月12日 ～5月31日	1,708万7,969円
令和3年7月島根県大雨 災害義援金	2021年7月16日 ～9月30日	6,512万1,752円
令和3年8月島根県大雨 災害義援金	2021年8月25日 ～9月30日	702万4,707円
令和3年7月広島県大雨 災害義援金	2021年8月26日 ～12月28日	1億3,880万5,904円
令和3年8月広島県大雨 災害義援金	2021年8月26日 ～12月28日	7,811万6,318円
平成30年7月広島県豪雨 災害義援金	2018年7月12日 ～2022年6月30日	受付中
平成30年7月豪雨岡山県 災害義援金	2018年7月12日 ～2022年6月30日	受付中

	期 間	金 額
2021年ハイチ地震救援金	2021年8月18日 ～11月30日	38,24万3,349円
トンガ大洋州噴火津波救援金	2022年1月26日 ～2022年3月31日	2億6,247万6,525円

(4) 物品などの寄贈

○福祉車両の寄贈

例年「NHK福祉大相撲」の収益で福祉車両を全国の福祉団体・施設に寄贈しているが、2021年度の第54回は、コロナウイルスの感染状況などに鑑み中止した。福祉相撲号に代わる福祉車両3台（うち1台は日産自動車㈱寄贈）を「NHK厚生文化事業団号」と名付け、下記の施設に寄贈した。

<贈呈先>

社会福祉法人 ざおう福祉会 障がい福祉サービス事業所 夢工房 (山形市)
社会福祉法人 鋸南町社会福祉協議会 (千葉県鋸南町)
社会福祉法人 芦山会 (福井県越前市)

(5) 催物への招待

例年、視覚障害の人や知的障害のある人を招待しているN響「第9」チャリティーコンサートとNHK福祉大相撲は、コロナの影響で、2020年度につづいていずれも中止となった。

7. 広報活動

事業団が主催するフォーラムや催し物情報、福祉ビデオライブラリーの新着情報、これまでの活動記録などをホームページで掲載するとともに、メールマガジンやSNSでも配信し、事業団の福祉活動への理解と協力を求めた。

(1) ホームページ、メールマガジンによる広報強化

- 事業団の活動をより多くの人に知ってもらい、活用してもらうため、「最近の活動内容」や、「募集事業の案内」、「福祉ビデオライブラリーの新着情報」などをきめ細かく提供するとともに、ビジュアルでわかりやすい画面構成に努めた。

主な掲載内容は、

- ・ 事業団の「催し物の予定」や「実施事業の報告」
 - ・ 事業団が制作した冊子の内容。「認知症」や「がん緩和ケア」など
 - ・ 「NHK障害福祉賞」などの入選作品の紹介
 - ・ 「わかば基金」で支援した福祉団体の活動をレポートする「わかばなかま」
 - ・ 「福祉ビデオライブラリー」の目録や予約システム
 - ・ 寄付について
- ・・・・・・・・など

- 福祉DVD「摂食障害 理解と回復のために」「ひとりも取り残さないために～インクルーシブ防災～」の動画の一部や、「認知症とともに生きるまち大賞」受賞団体の活動映像の動画をホームページで配信し、要望に応えた。

(2) 広報物の作成・配布

- NHK厚生文化事業団年報「支えあい 共に生きていくために」を発行して、事業団の福祉活動への理解促進を図った。

8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等

事業団はNHKグループの一員であり、社会福祉法に則り、寄付で運営される社会福祉法人であることから、高い説明責任、透明性ある事業運営が強く求められている。引き続き内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等に努めた。

(1) 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底

○外部の専門団体との連携

外部の専門団体との間で顧問契約を結び、適正経理、法務、労務・安全管理、情報セキュリティ等の重点リスクについて逐次助言を得て、客観性や合理性、専門性を担保し業務を進めた。

NHKグループの「統合ネット」に参加して、NHKと連携して情報セキュリティの整備に努めた。財務管理は社会福祉法人会計基準に対応した財務システムにより行った。

○内部監査と会計監査

内部監査についてNHK内部監査室実地調査を受検し、共有フォルダーの適正化など情報セキュリティ強化を進めた結果、カバナンス・業務執行状況等について適切との評価を得た。また、会計監査は、監査法人の専門チームに委託して行った。

○業務の適正を確保するための体制の評価

NHKグループの仕様にに基づき、内部統制について「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」の6つの観点から整備状況および運用状況の有効性を評価した。また、業務上重要なリスクを抽出したうえで、必要な対応(内部統制)を実施しているか評価した。評価の結果、2022年3月31日時点における事業団の内部統制は、概ね有効であると判断された。

(2) 「働き方改革」の推進等

「働き方改革」に継続して取り組み、より創造性を発揮できる環境の整備に努めた。毎月の「働き方総点検」で、時間外や勤務休暇取得日数、業務量のバランスなどを把握し、適正な勤務管理に努めた。事業団の必須目標とした勤務休暇7日(新転籍者5日)以上の取得を全員が達成した。

コロナウイルス感染症の感染拡大に対処するため様々な感染防止策を講ずるとともに、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置下では在宅勤務と時差出退勤を認める措置をとった。在宅勤務については、多様な働き方を進めるため、就業規則に明記して制度化している。

(3) 各種研修の実施

NHK放送研修センターが実施する研修や、外部講師を招いて事業団独自で開催した研修などを通して、全役職員でリスクマネジメントの強化に努めた。

(4) NHK職員維持会員費の新納付制度

寄付金の多様な受入方法展開の観点から、NHK職員維持会員費の給与引去り終了(2021年12月)を機に、クレジットカード支払・口座振替への移行に向けたシステムを構築した。2022年4月にリリースする予定である。

9. 後援・協賛した事業

毎年、福祉、教育、医療団体などが実施する研修や啓発事業、また美術、スポーツ団体などが福祉目的で開催するチャリティー事業に積極的に協力してきたが、コロナウイルス感染症の影響を受けて2021年度も中止が相次ぎ、本部・支局合わせて68件（昨年度は60件）の事業の後援、協賛にとどまった。

○福祉関連の催し（36件／昨年度は48件）

「世界自閉症啓発デー2021」「第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」
「高校生ボランティア・アワード2021」「全国遷延性意識障害者・家族の会 関西・北海道ブロック」などを後援、協賛した。

○チャリティー催し物（32件／昨年度は12件）

「国展」「春陽展」「東光展」「二科展」「三多摩総合舞踊発表会」「チアリーディング日本選手権大会」「KEIRINグランプリ2021」「手工芸作品展」「関西国展」
「チャリティー全国大陶器市」（9か所）を後援し、その益金から事業団へ寄付をいただいた。

10. 寄付金

当事業団への寄付金には2種類ある。個人や団体からのご寄付である一般寄付金と、当団が主催、後援、協賛したチャリティー事業からのご寄付であるチャリティー寄付金である。

2021年度は、

一般寄付金	184件	5,822万4,443円
チャリティー寄付金	38件	2,301万4,704円
寄付金総額	222件	8,123万9,147円

となった。

11. 賛助会員・維持会員等

賛助会員は一般法人に広く協力を求め、本年度は1団体1口の新規入会があった。一方で、退会8団体8口の申し出もあり、結果として106団体から1,660万円の支援を受けた。

個人からの継続寄付者を含む維持会員等については、NHKおよびNHK関連団体役員、NHK旧友会員など497人の方々の協力を得て、その額は209万円となった。

[特別賛助会員]

- ・三栄製薬
- ・第一生命保険
- ・ノービスハイエストサービス
- ・日立製作所
- ・富士通
- ・みずほ銀行
- ・NHKエンタープライズ

[賛助会員]

- ・愛知県農業協同組合中央会
- ・葵設備工事
- ・アットホーム
- ・アフラック
- ・アーチェリープロダクション
- ・アーティストハウスピラミッド
- ・池上通信機
- ・石川近鉄タクシー
- ・岩谷産業
- ・栄光舎
- ・エクサート松崎
- ・荏原冷熱システム
- ・遠藤波津子美容室
- ・岡谷鋼機
- ・勝亦電機製作所
- ・加藤電気工業所
- ・川崎重工業
- ・川嶋印刷
- ・木下サーカス
- ・近物レックス
- ・近鉄タクシー
- ・グリーン・アート
- ・KDDI
- ・国際自動車
- ・コメリ
- ・近藤産興
- ・サンセイ
- ・シーズコーポレーション
- ・ジーズ・コーポレーション
- ・ジェイアール東海高島屋
- ・島精機製作所
- ・小学館
- ・白川プロ
- ・スタービーイング
- ・スマートコンセプト
- ・住友電気工業
- ・住江織物
- ・全国大陶器市振興組合
- ・全国陶器祭り振興会
- ・ゼンリン
- ・総合システム管理
- ・大和自動車交通
- ・大和証券
- ・大和リース
- ・タカラベルモント
- ・津幡技研工業
- ・ツムラ
- ・帝産キャブ名古屋
- ・帝都自動車交通
- ・東芝インフラシステムズ
- ・東新紙業
- ・名古屋三越
- ・西川
- ・日産自動車販売
- ・日本医師会
- ・日本音楽事業者協会
- ・日本音楽著作権協会
- ・日本ガイシ
- ・日本交通
- ・日本たばこ産業
- ・日本電気
- ・ネイチャー
- ・野村證券
- ・バーニングプロダクション
- ・花岡無線電機
- ・阪急産業
- ・PL東京健康管理センター
- ・日立国際電気
- ・阪急電鉄
- ・丸一鋼管
- ・丸徳産業
- ・福建社
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・明電舎
- ・三井住友信託銀行
- ・モリタホールディングス
- ・森平舞台機構
- ・メデア21
- ・吉本興業
- ・リンレイ
- ・ヨコシネディーアイエー
- ・NHKアート
- ・NHKインターナショナル
- ・WOWOW

- ・NHK 営業 サービス
 - ・NHK グローバルメディアサービス
 - ・NHK テクノロジーズ
 - ・NHK 放送研修センター
 - ・NHK 学 園
 - ・NHK エデュケーショナル
 - ・NHK サービスセンター
 - ・NHK ビジネスクリエイト
 - ・共 栄 サ ー ビ ス
 - ・日本放送協会共済会
 - ・NHK エンジニアリングシステム
 - ・NHK 出 版
 - ・NHK プロモーション
 - ・日本国際放送
 - ・放送衛星システム
- (五十音順 2022. 3. 31現在)

12. 役員

(1) 役員体制 (2022年3月31日現在)

理事長	鈴木 賢一	
常務理事	石川 信	
理事 (非常勤)	上野 一彦	(東京学芸大学名誉教授)
理事 (非常勤)	梶 健一郎	(NHK視聴者総局事業センター長)
理事 (非常勤)	伍藤 忠春	(公益財団法人日本パラスポーツ協会評議員)
理事 (非常勤)	佐々木 桃子	(社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長)
理事 (非常勤)	中村 吉夫	(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター理事長)
理事 (非常勤)	橋本 正明	(公益財団法人社会福祉振興・試験センター理事長)
理事 (非常勤)	松本 浩司	(株式会社NHKエンタープライズ代表取締役社長)
理事 (非常勤)	矢吹 寿秀	(NHK制作局制作主幹)
監事 (非常勤)	渋谷 篤男	(社会福祉法人中央共同募金会理事)
監事 (非常勤)	藤川 英彦	(株式会社NHK出版取締役)

2) 理事および監事に支払った報酬等の額

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象となる 役員数 (人)
		定額部分	変動部分	
理事 (非常勤役員を除く)	30,396	22,836	7,560	2人
非常勤理事・監事	200	200	0	10人

※NHKおよびNHK関連団体の役職員としての立場を有する非常勤理事3人・非常勤監事1人に対しては、報酬を支払っていない。

※上記以外の非常勤理事2人・非常勤監事1人に対しては、理事会に出席の都度、定額を支払っている。

13. 2021年度末従業員数

13人 [東京：12人、大阪：1人]

九州支局については、1993年の設立以来、各種の福祉事業を地域に根差して展開してきた。これまで支局が続けてきた活動の成果を踏まえ、今後は本部から九州・沖縄地方へ福祉事業を展開することを前提に、2022年3月31日をもって閉所した。